

2026年5月5日

新潟県知事選挙 立候補予定者 土田竜吾 様

原発再稼働を考える会・長岡 共同代表 小林 茂、小山洋司

要 望 書

来る新潟県知事選挙に立候補をご決断下さり、大変心強く思っています。私たちは、原発再稼働について県民の意思で決めたいという思いで、署名活動、議会傍聴、街頭PR, チラシ配布活動などを行ってきました。しかしながら、私たちの意思を汲もうとしない花角知事の判断により、原発は再稼働されてしまいました。私たちは安全で安心な暮らしができる新潟を求めて活動しています。

今回の知事選挙においては、そうした新潟を実現できるように私たちから立候補を決意された土田様に以下の点については是非ともご配慮いただくよう要望させていただきますので、よろしくお願いいたします。

私たちも土田様の当選に向けて長岡地域を中心として精一杯応援していきますので、健康にご配慮の上、選挙活動に取り組まれることを要望いたします。

一、県民の意思に沿った県政運営を目指していただきたく、お願いいたします。原発の再稼働には、県民の不安が大きいため、私たちは県民の意思をその判断に生かすために県民投票条例の制定を求める署名活動を行ってきました。その思いを実現するために県民投票条例の制定を目指していただきたい。

一、柏崎刈羽原発は再稼働にあたってさまざまなトラブルが発生し、東京電力社員のセキュリティ違反も発生しています。県として東京電力の原発事業者としての適格性を検証する体制を築いていただきたい。

一、柏崎刈羽原発の安全対策について継続している技術委員会において、徹底的に議論し、検証する体制を築いていただきたい。

一、柏崎刈羽原発事故時の避難体制を実効性のあるものにするために、避難計画の実効性及び避難体制の実効性を不断に検証する体制を築いていただきたい。

一、最後に県民に寄り添った県政を実現するために県民の声を丁寧に拾い上げ、県民に嘘をつかない県政運営をしていただきたい。